

事務事業名	学校給食センター整備事業				担当	教育委員会 学校給食センター 第一学校給食センター	
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	2 心の教育と健やかな体づくり						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市健康21プラン 真岡市食育推進計画				事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 毎年度実施（開始年度 年度～） ☒ 期間限定複数年度（平成28 年度～ 令和7 年度）	
法令根拠	学校給食法						
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	3.学校給食施設費			
予算科目							
予算科目							
事業概要	第一学校給食センターは、昭和54年度に真岡市立学校給食共同調理場として開設され、40年以上が経過しており、老朽化や耐震性などの問題に加え、学校給食衛生管理基準を満たしていないなどの課題も出ている。 これらのことを解消し、児童・生徒に安全で安心な給食を提供するために、庁内の建替検討委員会や検討部会を組織し、協議・検討を重ねてきた。 平成28年度に真岡市学校給食センター整備基本計画を作成したが、その後整備方法や建設候補地等を見直したため、令和2年度に外部の給食提供に関わる関係者を委員とする整備審議会や、食育・食物アレルギー・防災の有識者による専門部会を開催し、計画の修正を行い、整備基本計画を策定した。 令和5年度から新第一学校給食センターの建設事業及び第二学校給食センターの増強整備事業に着手した。 令和6年度新第一学校給食センターの建設事業及び第二学校給食センターの増強整備事業が完了した。 令和7年度は旧第一学校給食センターの解体工事を実施し、学校給食センター整備事業が完了する予定。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 新第一学校給食センター建築工事の実施（令和5・6年度事業） ・ 建築、電気、機械工事・敷地整備工事・排水工事 ・ 工事監理業務 ・ 厨房機器の購入・設置 第二学校給食センターの施設増強整備事業の実施（令和5・6年度事業） ・ 電気、機械工事 ・ 厨房機器の購入設置 7年度計画 旧第一学校給食センター解体工事の実施 ・ 本体 ・ 下水道関係埋設管撤去		名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
		ア 給食センター庁内建替検討委員会の開催	回	0	0	0	0	0	
		イ 給食センター整備審議会の開催	回	0	0	0	0	0	
		ウ 給食センター整備審議会専門部会の開催	回	0	0	0	0	0	
		エ 先進地視察の実施	回	2	0	0	0	0	
		オ 設計・工事の打合せの実施	回	12	12	7	21	10	
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内小・中学校の児童・生徒		⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
		名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
		ア 市内小・中学校数	校	23	23	23	23	23	
		イ 児童・生徒数及び教職員数	人	7,185	7,096	6,983	6,812	6,629	
		ウ							
		エ							
		オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 児童・生徒へ更なる安全・安心な給食の提供 ※毎年、給食時間帯における学校訪問時にアンケート調査実施（小学校4校、中学校2校程度）		⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
		名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
		ア 給食が好きな児童・生徒の割合	%	54.3	57.5	55.3	61.9	62.0	
		イ 新学校給食センター基本設計		完成					
		ウ 新学校給食センター実施設計			完成				
		エ 新学校給食センター工事				発注	完成		
		オ 新学校給食センター厨房機器導入				発注	完了		
(2) 総事業費の推移			単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	80,269	155,190	63,666
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	511,900	1,268,400	0
			その他	千円	0	24,600	187,500	287,100	0
			一般財源	千円	8,206	4,682	337	521,735	191,830
	事業費計（A）			千円	8,206	29,282	780,006	2,232,425	255,496

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 現施設の老朽化や耐震性の問題、学校給食衛生管理基準への対応のため、早急な整備が必要となっており、新センター建設は、児童・生徒への更なる安全・安心な給食の提供につながる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 学校教育関連施設の建設であり、市が行うべきものである。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 現施設の課題を解決するため、早急に整備を行い、児童・生徒に対して更なる安全・安心な給食の提供を行う必要がある。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 実施設計を基にして入札を実施し、工事業者を決定した。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由) 整備に対する類似事業はないが、児童・生徒数の減少により、令和24年度を目途に第二学校給食センターを第一学校給食センターに統合する計画としている。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 必要最小限の費用で実施している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） 入札を行い適正な価格で実施している。 ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: right;">/</td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	/																		
	低下		/	/																		
(2) 課題、課題の克服の方向性 工事費等について適正な積算に努める。																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: right;">/</td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○	/																			
	低下		/	/																			
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項																						